

原点から声を大にして！

— 北方領土返還要求根室市民大会 8 / 4 —

北方領土返還要求運動を強
力に推進する決意を表明し、
国内外の世論を高めることを
目的に「北方領土返還要求市
民大会」が総合文化会館で開
かれ、約700人が参加しました。

晴天に恵まれる中、アピー
ル行進が初めて決行され、300
人が襷にハチマキ姿で「四島
を返せ！」と、大きな声で訴
えながら、文化会館前から合
同庁舎前の往復15キロを行進
しました。

第二部の式典では、大会長
の長谷川市長が、「元島民の
約6割が他界され、平均年齢
も80歳を迎えている。この現
実を踏まえ、元島民が一人で



登壇にたち領土返還を訴えた久松敬一さん



「四島を返せ」と声を上げる市民ら300人

も多くいるうちに結果を残さ
なければならぬ」と述べ、
「政府に対してもこの機会を
逃すことなく交渉に望んでほ
しい」と要望しました。
また、元国後島民の久松敬
一さんは、「一日も早い返還
を願う」と当時を振り返りな
がら訴えました。式典の最後
に、北方領土の早期返還を求
める大会決議が採択され、閉
会しました。
大会では、4月末に行われ
た日口首脳会談で領土問題の
交渉を再スタートさせること
で合意したことを受けて、こ
れからの進展に期待が寄せら
れていました。

根室から自慢ののどを全国へ

— NHKのど自慢 7 / 28 —

総合文化会館の開館20周年
を記念して「NHKのど自慢」
が行われました。7年ぶりの
根室開催ということもあり、
予選会には、市内外から約200
組が参加し、ステージ中を駆
け回る人など、さまざまな形
でアピールしていました。

全国に生放送される予選会
を勝ち抜いた20組は、応募者
8946人の中から選ばれた
893人の観客の前で、堂々
たる歌いっぷりを見せました。

今週のチャンピオンに選ば
れたのは、幼稚園教諭の多嶋
身江子さん。ゲスト賞には、
根室高校二年の圓山柊斗くん
と小島拓くんのペアが受賞し、
20組の参加者は自慢ののどを
全国に届けました。



頑張る小中学生！

— 夏休み学習サポート 8 / 13 & 15 —

総合文化会館にて、市内児
童生徒の学力向上対策の一環
として「夏休み学習サポート」
が行われ、36人の小中学生が
参加しました。

この事業は、平成23年度か
ら市教委が北海道教育大学に
学生講師の派遣を依頼し行っ
ており、今年は、教師を目標
す訓練大の学生や、学力向上
補助員、退職教員など15人が
講師を務めました。

学習方法としては、自学自
習しながら、わからないとこ
ろは講師に聞くという形を基
本としており、子どもたちは
真剣に問題に取り組みながら
お兄さん、お姉さんたちの丁寧な指導をしっかりと聞き、宿
題を進めていきました。



めざせ未来の白衣の天使

— 一日看護体験(高校生) 8 / 21 —

ナースを夢見る高校生18人
が、市立根室病院で一日看護
体験を行いました。

今回人数が多いため、患者
さんと触れ合うことはできま
せんでしたが、憧れのナース
服を身にまとい、先輩ナース
から医療器具等の扱い方など
の指導を受けていました。
根室高校3年の菅原風紗さ
んは「看護師の仕事は大変、
でも患者さんの気持ちを大切
にできる看護師になりたい」と
満面の笑みで話してくれま
した。

高校生たちの、楽しみに体
験しながらも、時折みせる真
剣なまなざしから、ナースの
夢への一歩を踏み出したよう
な気がしました。

